

北海道大学シラバス

<p>■ ■ 科目名</p> <p>メディア創生学特論</p>					
<p>■ ■ 講義題目</p>					
<p>■ ■ 責任教員(所属)</p> <p>坂本 雄児(大学院情報科学研究科)</p>					
<p>■ ■ 担当教員(所属)</p> <p>坂本 雄児(大学院情報科学研究科)</p>					
<p>■ ■ 科目種別</p>	<p>情報科学研究科専門科目</p>			<p>■ ■ 他学部履修等の可否</p>	
<p>■ ■ 開講年度</p>	2016	<p>■ ■ 期間</p>	2学期(秋ターム)	<p>■ ■ 時間割番号</p>	046052
<p>■ ■ 授業形態</p>	講義	<p>■ ■ 単位数</p>	2	<p>■ ■ 対象年次</p>	~
<p>■ ■ 対象学科・クラス</p>				<p>■ ■ 補足事項</p>	
<p>■ ■ ナンバリングコード</p>	IST_MN 6010				
<p>■ ■ 大分類コード</p>	<p>■ ■ 大分類名称</p> <p>IST_MN 情報科学研究科(メディアネットワーク専攻)</p>				
<p>■ ■ レベルコード</p>	<p>■ ■ レベル</p> <p>6 大学院(修士・専門職)専門科目(発展的な内容の科目、研究指導科目)</p>				
<p>■ ■ 中分類コード</p>	<p>■ ■ 中分類名称</p> <p>0 情報メディア</p>				
<p>■ ■ 小分類コード</p>	<p>■ ■ 小分類名称</p> <p>1 メディア創生</p>				
<p>■ ■ 言語コード</p>	<p>■ ■ 言語</p> <p>0 日本語で行う授業</p>				

■ ■ キーワード

コミュニケーションメディア

■ ■ 授業の目標

IT技術を介した様々なコミュニケーションメディアは現在の社会の情報基盤として重要性を増しつつある。この講義では、メディアを創生していくための方法論や技術を学ぶ。テキストメディア、映像・画像メディア、音声・音響メディアなどの多様なメディアの基礎知識を学ぶとともに、インターネットを介してのメディアの配信やコンテンツの特徴についても理解を深める。

■ ■ 到達目標

受講後に、メディアの創生にかかわる実際的な専門書を学生自身が独力で読む際に必要となる基本概念と用語を理解する。

■ ■ 授業計画

1) メディアとその創生
メディアの歴史、メディア創生の歴史、メディア創生の概要

2) テキストメディアの創生
メールをはじめチャットやハイパーテキストなど、インターネットとテキストメディアの特徴とテキストメディアの創生技法を学ぶ。

3) 画像メディアの創生
コンピュータグラフィックスの基礎技術、インターネットでの画像メディアの配送など、画像メディアの創生技法を学ぶ。

4) 音声・音響メディアの創生

オーディオ圧縮技法やインターネットでの配信など、音声・音響メディアの創生技法を学ぶ。

5) 複合メディアの創生

人工現実感、複合現実感などの様々なメディアを高度に組み合わせた複合メディアの創生技法を学ぶ。

6) 応用例

アニメーション、コンピュータビジョン、三次元表示技術など、最新の応用技術を学ぶ。

■ ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

講義の進行に従いレポート課題を適宜与える。

■ ■ 成績評価の基準と方法

講義への参加と、レポート課題の結果を総合的に評価する。

■ ■ テキスト・教科書

■ ■ 講義指定図書

■ ■ 参照ホームページ

■ ■ 研究室のホームページ

■ ■ 備考

コンピュータシステム、コンピュータネットワーク、コンピュータグラフィックスの基礎知識を有していることが望ましい。

■ ■ 更新日時

2016/01/29 17:51:55